

令和 8 年熊本地震後の国宝通潤橋の放水再開について

この度の「令和 8 年熊本地震」により被災されたすべての皆様に対し、心より
お見舞い申し上げます。

熊本県は 10 年間で 2 度の大地震となり、今、誰も経験したことのない困難の
中にあります。本町におきましては落石等による孤立集落の発生等被害はあった
ものの比較的回復も早く、大きな被害を受けた被災地への応援職員派遣など復旧
復興に向け、今後も支援を続けてまいる所存です。

国宝通潤橋は、平成 28 年熊本地震では大きな被害を受けましたが、今回の地
震では石垣の落下等はなく、目視においては変形も確認されていません。ただ、
詳細な調査分析に期間を要するため、橋上観覧については本年度中の休止を決定
しました。放水については、橋上通水石管の通水試験を行い、漏水が通常程度で
あることが確認できましたので、明日 8 月 13 日から放水を再開することといた
しました。

10 年前、地震後の大雨で石垣の一部が崩落した通潤橋は、その後、元の雄姿
を取り戻し国宝指定につながっていきました。私は、通潤橋が 2 つの地震を乗り
越え熊本の未来に明かりを灯す復興のシンボルとして、皆様の心の支えになれば
と願っております。

今回の地震で亡くなられた方々への哀悼の意と被災されながらも復興に向け
頑張っておられる皆様にエールを送る意味を込め、国宝通潤橋の放水を実施しま
す。そしてこの放水をご覧いただいた方々に、被災された県内全域への復興への
協力を呼び掛けたいと思います。

最後に、被災された皆様が一日も早く平穏な生活を取り戻されることを心から
お祈り申し上げます。

令和 8 年 8 月 12 日

山都町長 **坂本 靖也**